

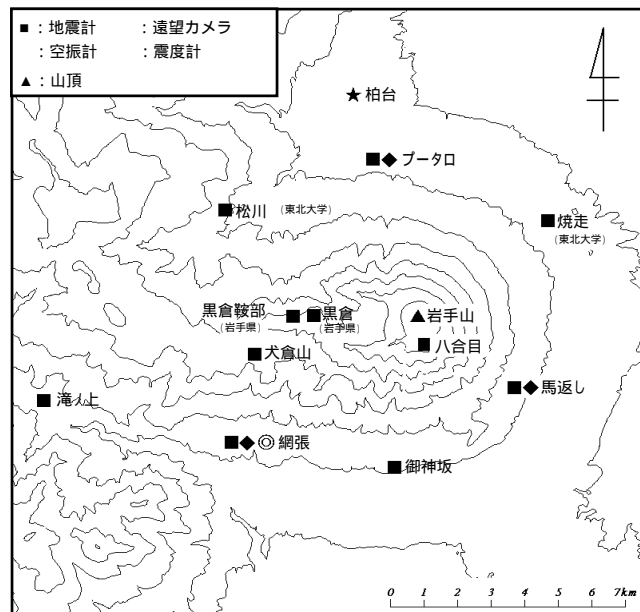
岩手山

○概況

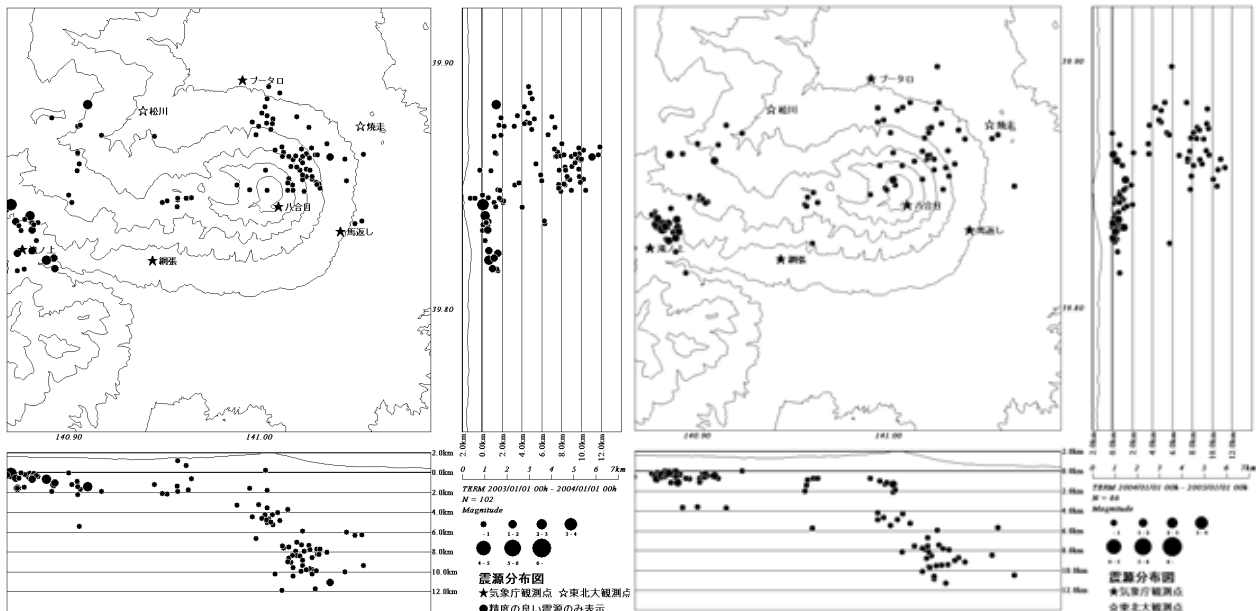
火山活動は穏やかに経過しました。

黒倉山山頂の噴気活動は、次第に低下傾向が見られ始めてきています。

6 月に行った現地観測では、1999 年頃から笹枯れが始まった西岩手山の黒倉山付近で、植生の回復が見られるようになりました。また、1 2 月に自衛隊ヘリの協力による機上観測でも、黒倉山山頂の西に伸びている地熱地帯の裸地で、地温の低下傾向がみられます。



岩手山火山観測点配置図



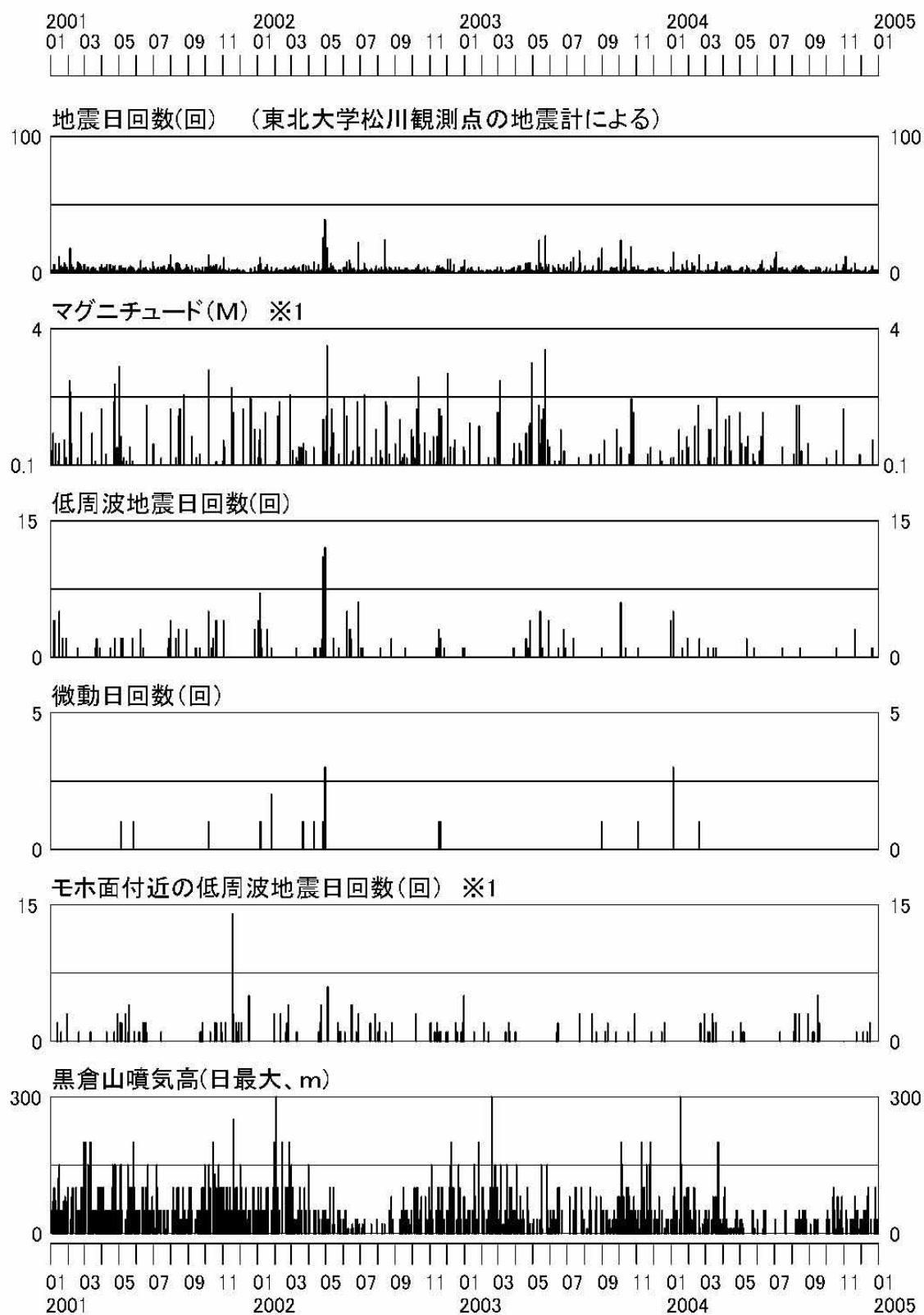
岩手山震源分布図(2003.1.1 ~ 2003.12.31)

岩手山震源分布図(2004.1.1 ~ 2004.12.31)

この資料は、東北大学及び気象庁のデータを基に作成しています。

岩手山 活動一覧

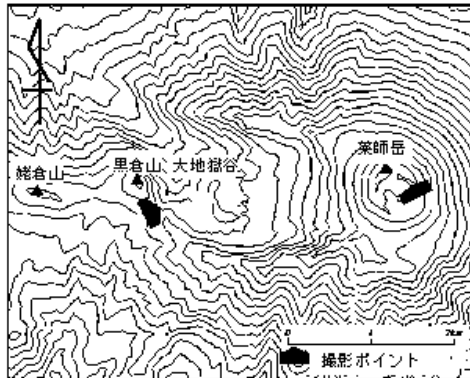
2001/01/01～2004/12/31



1 弘前大学、東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所、及び気象庁のデータを基に作成しています。

岩手山 現地観測の状況

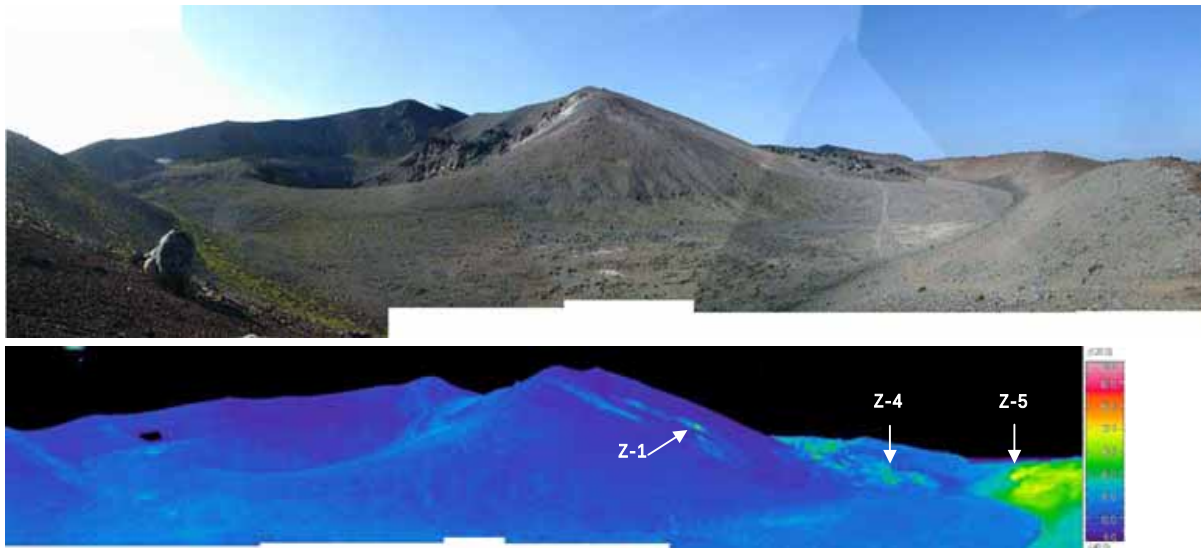
6月17日、18日に、岩手山山頂部、大地獄谷、黒倉山から姥倉山にかけて、現地観測を実施しました。その結果、前回（昨年9月18日）前々回（昨年6月17日、18日）と比べ、噴気・地熱地帯などの状況に、大きな変化はみられませんでした。



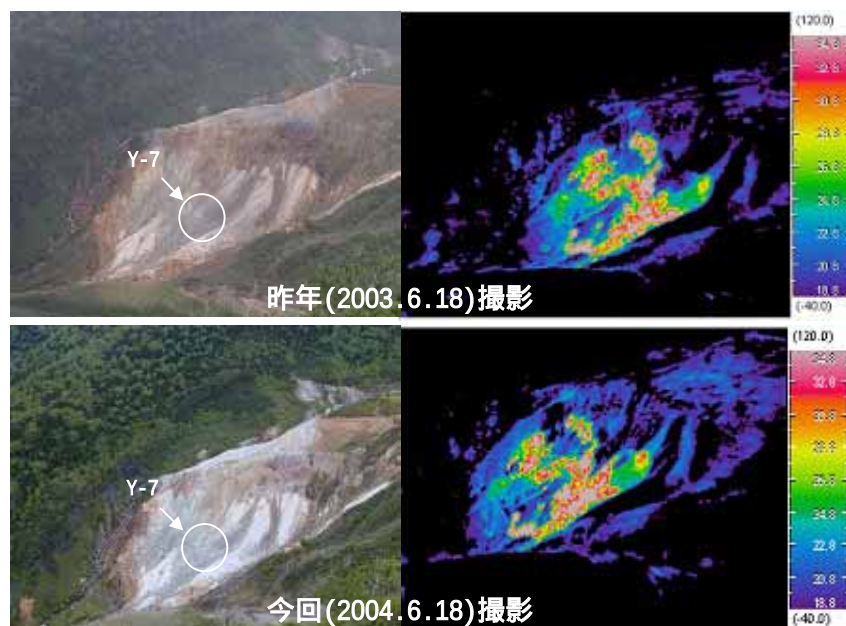
赤外熱映像観測点図

	Z-1(妙高岳南東斜面)		Z-4(奥宮)	
	天気・気温	噴気温度	天気・気温	噴気温度
今回	晴・15	95	晴・15	54
昨年9月			曇・11	52
昨年6月	曇・14	94	晴・15	49

	Z-5(外輪山内壁)		Y-7(大地獄谷主噴気)	
	天気・気温	噴気温度	天気・気温	噴気温度
今回	晴・18	86	曇・19	97
昨年9月	曇・12	85		
昨年6月	曇・15	88	晴・15	96



岩手山山頂部の可視画像（上）と赤外熱映像画像（下）



大地獄谷の可視画像（左）と赤外熱映像画像（右）

上空からの観測結果（平成 16 年 12 月 9 日実施）

山頂付近 - 地熱による雪融けの範囲は、妙高岳南東斜面や奥の宮神社周辺、お鉢南東斜面の一部で確認されましたが、異常はみられませんでした。

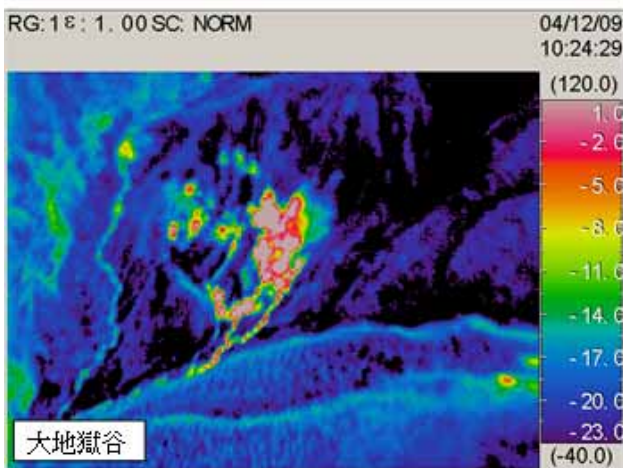
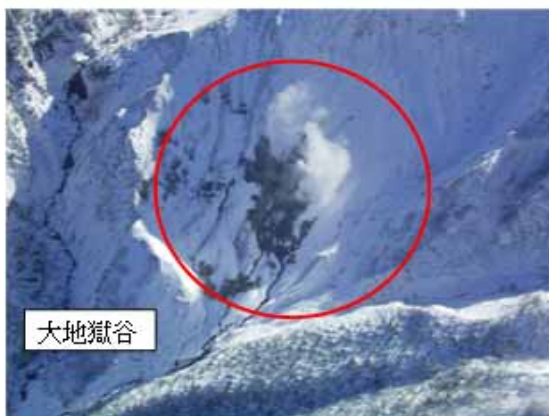
大地獄谷 - 噴気は 3、4 箇所の噴気孔から高さ約 30m でており、噴気孔周辺に硫黄の飛沫も確認されず、異常はみられませんでした。

西 小 沢 - 噴気地熱地帯に大きな変化はなく、異常はみられませんでした。

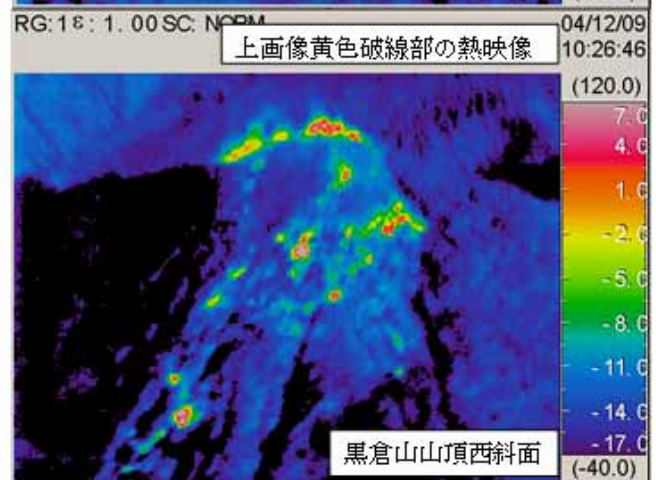
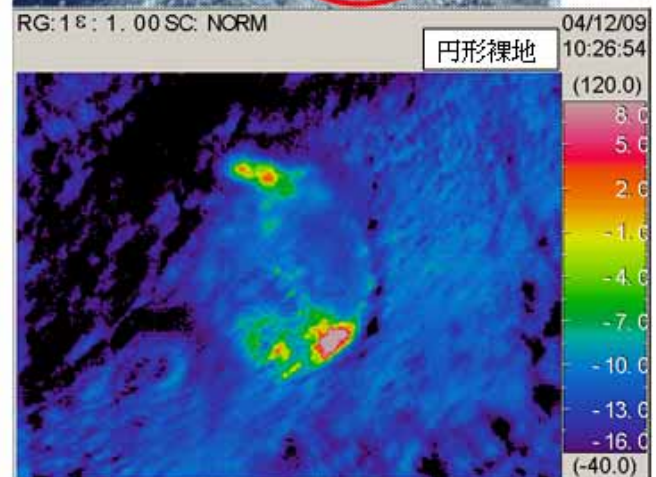
黒倉山頂 - 噴気の高さは 20m で通常の範囲でした。山頂の西に伸びていた地熱地帯の裸地は、今回の観測で、うっすらと雪に被われており、地温の低下傾向がみられます。

黒倉～姥倉山 - 稜線沿いの雪融け範囲は、前回（昨年 12 月）のヘリ観測時と同じでした。

その他の観測点でも、異常は見られませんでした。



大地獄谷の画像(2004.12.9)



黒倉山頂西側の画像(2004.12.9)